



奨 励 賞

北野天満宮境内整備平成の大改修 「紅梅殿別離の庭」～国宝北野縁起絵巻の再現～

設計部門



①



②



③



④

①史跡御土居を背景とした「紅梅殿別離の庭」 ②屈曲した流れ ③社殿を背景とした流れの景 ④国宝「北野縁起絵巻」-紅梅殿別離の段-

株式会社空間創研

片木孝子・宇戸睦雄・泉崇・後藤逸成・荘田隆久

樋口造園株式会社

樋口隆三・樋口貴茂

北野天満宮では、平成39年に斎行される千百二十五年半萬燈祭に向けた整備事業として平成の大改修境内整備が行われている。『紅梅殿別離の庭』では、国宝『北野縁起絵巻』-紅梅殿別離の段-に描かれる景：道真公の生家「紅梅殿」と中庭の屈曲した流れを再現し、天神信仰発祥の地として相応しい、質の高い空間づくりを目指した。

本整備では、北野天満宮の神饌所として使用される紅梅殿と呼ばれる建築物を伝統的な曳家工法により南へ約50m移築し、庭園部分は平坦地であったことから、現況地盤より1.5mの盛土造成を行っている。滝石組とそれに続く流れは、曲水宴の運営に配慮した勾配とし、植栽計画は、境内のウメと史跡御土居のモミジなど、既存樹木の滲み出しによる植栽を行って、限られた空間に奥行き感と連続性を持たせた。

作品概要

作品名—— 北野天満宮境内整備—平成の大改修
「紅梅殿別離の庭」～国宝北野縁起絵巻の再現
所在地—— 京都府京都市上京区馬喰町
発注—— 宗教法人北野天満宮
設計—— 株式会社空間創研
施工—— 樋口造園株式会社
設計期間—— 平成25年7月～平成27年2月
施工期間—— 平成27年3月～平成27年10月
事業規模—— 約2.0ha(整備対象全体)約2,000㎡(今回対象)

作品評

本作品は菅原道真公が「東風吹かば…」の一首を詠じたと言われる中庭を描いた「紅梅殿別離の段」の再現を目指したものであり、社殿の移築や「絵巻」に描かれた庭の再現といった複雑な工事を、神官や有識者といった多くの関係者と調整しながら実施した。

再現された空間は、北野天満宮の一角を成すにふさわしい空間として位置しており、歴史的庭園の再生のために積み重ねられた検討や施工上での工夫なども評価された。今後は、再現された「曲水の流れ」に関する解説や、庭園の再現といった主題に関する解説の充実などが期待され、奨励賞となった。